



2 0 2 0 年 2 月 1 3 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

## J R 北 労 組 第 17 回 拡 大 中 央 委 員 会

# J R 北 海 道 と J R グ ル ー プ で 働 く 者 の 健 全 な 発 展 を さ ら に 構 築 す る !

J R 北 労 組 は 2 月 8 日、「か だ る 2 . 7」に お い て 第 17 回 拡 大 中 央 委 員 会 を 開 催 し た。中 央 委 員 や 傍 聴 な ど 総 勢 約 80 名 が 参 集 し、安 全 の 確 立、民 主 化 闘 争 完 遂・組 織 拡 大、2 0 2 0 春 季 生 活 闘 争 の 取 り 組 み、政 策 の 実 現 な ど を 柱 と し た 当 面 の 活 動 方 針 を、真 摯 な 討 議 を 経 て 満 場 一 致 で 決 定 し た。



冒 頭、昆 弘 美 中 央 執 行 委 員 長 ( J R 連 合 副 会 長 ) は 挨拶 で、単 独 維 持 困 難 線 区 の 課 題 に つ い て「北 海 道 全 体 の 活 性 化・発 展 を 目 指 す 総 合 的 な 視 点 が 不 可 欠 で 是 也。交 通 体 系 に 限 ら ず、観 光 や 文 化、地 場 産 業 の 活 性 化、交 流 人 口 の 増 加 等、地 方 創 生 を 図 る こ と を も 視 野 に 入 れ た 総 合 的 な 議 論・検 討 を 行 う べ き」と の 考 え 方 を 示 し た。ま た、組 織 拡 大 に つ い て は「良 識 あ る 他 労 組 組 合 員 は、何 処 の 職 場 に も 存 在 し、不 信・

不 満 は 共 通 し て い る。こ の 共 通 し た 気 持 ち を 解 決 で き る の は、自 由 で 民 主 的 な J R 北 労 組 に 加 入 す る こ と で あ り、そ の こ と を 意 識 し て、私 た ち 自 ら が 自 信 と 確 信 を 持 っ て 組 織 拡 大 に 邁 進 し よ う !」と 強 く 訴 え た。ま た、来 賓 と し て 出 席 し た J R 連 合 の 今 井 企 画 部 長 か ら は、J R 連 合 第 32 回 中 央 委 員 会 で 決 定 し た 活 動 方 針 や「J R 連 合 ビ ジ ョ ン」に つ い て 説 明 を す る と と も に、J R 総 連 を 取 り 巻 く 情 勢 に つ い て も 共 有 を 図 っ た。

質 疑・応 答 で は、8 名 の 委 員 な ど か ら 2 0 2 0 春 季 生 活 闘 争 に む け た 賃 金 の 引 き 上 げ や シ ニ ア 層 の 働 き 方 に 関 す る 意 見、自 動 車 支 部 の 状 況 な ど の 発 言 が あ り、中 間 答 弁 を 経 て、園 木 寛 嗣 書 記 長 が 集 約 答 弁 を 行 い、満 場 一 致 で 議 題 が 承 認 さ れ た。そ の 後、委 員 会 宣 言 を 出 席 者 全 員 で 確 認 し、最 後 に 昆 委 員 長 の 団 結 ガ ン バ ロ ー で 閉 会 し た。